

協立グループだより

KYOURITSU GROUP

あけましておめでとうございます



院長・所長挨拶……………	2
水俣協立グループリニューアル進捗のご報告……………	3
記念シンポジウムを開催しました！……………	4
多職種連携でより安全・快適な療養環境へ……………	5
クリニック名称変更のお知らせ……………	6

秋の日帰りバス旅行……………	7
健康ふれあいまつりを開催しました！……………	7
新任の紹介……………	7
協立グループからのお知らせ……………	8

水俣協立病院 院長

重岡 伸一



新病院の完成が間近になりました。今の協立病院ができたのが1978年（昭和53年）で47年前、1999年（平成11年）に病棟の増改築を行ってからも26年が経っています。水俣協立グループはこれまで多くの患者さん、職員、地域の皆様に支えられてきました。歴史を受け継ぎながら新たな挑戦が始まる年になります。

いつでもかかりやすく、入院もできる病院、在宅療養で家族の介護を支え、困ったことの相談や在宅看取りにも寄り添う病院を目指して、この地域で私たちに求められること、私たちにできることをいつも考えていきたいと思っています。地域の医療機関、介護事業所、行政との連携やみなまた健康友の会との協力など地域の視点を大切にしながら、医学・医療の進歩を地道に学び続けます。そして気軽に声をかけやすいと言われるような病院でありたいものです。今年もよろしくお願いします。

神経内科リハビリテーション
協立クリニック 所長

高岡 滋



昨年成立した高市政権は、トランプ大統領に防衛費予算の早期の倍増などを約束しました。そのなかで、国内の医療機関の7割が赤字になっているにもかかわらず、医療・福祉関連などの予算が縮小され、高齢者医療費・薬剤費の自己負担の増額、病床数の削減が計画されています。このような高市政権を支持することは直接私たち国民の首を絞めることを皆様にお伝えしたいと思います。

今春、協立クリニックは水俣協立病院とともにリニューアルを迎えますが、開設以来、このような日本の医療福祉を改善する為の提言をしながら、地域の皆さまの心と身体を健康を支えるための努力をしまいいりました。

これまでの内科・神経内科・精神科の医療を継続し、医療介護だけでなく日々の生活上の問題等にも対応し、地域の皆様の要望に応えられるクリニックを目指し、職員一同、力を尽くしてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

水俣協立グループリニューアル進捗のご報告

水俣協立病院 事務長 打上 里美



いよいよ本年4月、水俣協立グループはリニューアルオープンを迎えます。
今回は、現在の進捗状況と建設現場の様子を写真とともにご紹介いたします。

工事の進捗状況

前回夏号のご報告では1階～2階部分の工事が開始されたことをお伝えしました。現在（2025年11月末）では、屋上までの工事が完了し、進捗率は95%に達しています。

1階から内装工事・インターネット配線・電話工事なども順調に進み、間もなく外壁塗装も始まり、完成が目前に迫っています。

（2026年3月の完成後には、新病院の内覧が可能となります。内覧をご希望の方は、事前に水俣協立病院総務課（0966-63-1823）までご連絡ください。）



新病院正面出入り口

地域協同基金・寄付のご報告

2024年1月から始まった地域協同基金と寄付は、目標額2億円に向けて取り組んできました。2025年9月末には1億円を突破し、合計額は113,488,323円、達成率は56.7%（2025年11月末時点）となりました。

皆さまからの温かいご支援に感謝

物価高騰の厳しい状況の中で、友の会会員の皆さま、地域の皆さま、市内外の事業所、水俣病関係弁護士の皆さま、そして多くの職員の皆さまなど多くの方々から温かいご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。



3階病棟フロア

今後のご協力をお願い

水俣協立グループのリニューアルを契機として実施しております「地域協同基金」および「ご寄付のご協力募集」につきましては、2025年12月をもって一区切りとさせていただきます。しかしながら、今後も芳和会へのご支援・ご指導を賜りますとともに、通常の地域協同基金およびご寄付の受付は継続してまいります。引き続き、皆さまの温かいご協力を心よりお願い申し上げます。



屋上

リニューアルスケジュール

2024年9月25日	入札（梅林建設）	2026年3月初旬	新館完成予定
10月15日	建設予定地横、整形外科医院跡改修工事開始		完成内覧会・祝賀会（3/21（土）） 旧館から新病院への引っ越し
11月29日	整形外科医院跡改修工事終了	4月1日	新病院・クリニック・ 在宅総合ケアセンター協立 運用開始
11月30日	総務、医局 整形外科医院跡2階へ引越	4月初旬頃～12月末	旧館解体工事開始
12月3日	総務、医局棟、 倉庫解体工事開始	2027年1月初旬～2月末頃	外構工事開始
2025年1月8日	起工式	2027年3月初旬	フルリニューアルオープン

次号では、いよいよ完成後の様子をお届けいたします。どうぞお楽しみに。

協立グループ50周年
記念シンポジウムを開催しました！

「医療と介護をつなぐまちづくり」

～住み慣れた地域で最後まで暮らすために～

総看護師長 田口 弘子

水俣診療所開設から50周年の節目を記念し、「医療と介護をつなぐまちづくり」をテーマとしたシンポジウムを2025年12月8日（土）にもやい館にて開催しました。当日は多くの市民の皆さま、地域の事業所の皆さまにご参加いただき、あらためて地域の力を感じる時間となりました。（参加者86名）。今回のシンポジウムでは、コーディネーターを水俣協立病院 院長の重岡先生が務め、パネリストには水俣地域の医療・介護・福祉の現場を支える多様な専門職の方々にご登壇いただきました。

パネリスト紹介

- 山内 宏泰 さん（水俣市地域包括支援センター 主任介護支援専門員）
- 加藤 美紀 さん（訪問看護ステーションみやざき 管理者）
- 松本 幸美 さん（みなまた健康友の会 事務局）
- 光永 顕彰 さん（水俣協立病院 副院長）
- 中村 祐介 さん（在宅総合ケアセンター協立 主任介護支援専門員）
- 重岡 伸一 コーディネーター（水俣協立病院 院長）

はじめに光永副院長が医療者から見えている地域の現状を報告し、パネリストのお仕事紹介、地域の方々を支える仕組み、「もしもの話と人生会議ノート」、地域のつながりを強くする活動「みなまた健康友の会」紹介、これからのまちづくりなど、それぞれの立場で、地域での支援の実情、これまでの取り組み、そして今後の課題や展望についてわかりやすくお話いただきました。医療・介護・福祉が連携し、多職種が同じ方向を向いて支えるための重要性が再確認される内容となり、会場では熱心に耳を傾ける参加者の姿が印象的でした。

閉会あいさつでは、神経内科リハビリテーション協立クリニック所長の高岡先生が、ご実家でお母さまの介護に向き合われている現状を紹介されました。医師としての視点だけでなく、一人の家族として介護と向き合う経験を率直に語られました。



参加された方々からは

「地域で安心して過ごせる仕組みがよくわかった」
「今の水俣の医療・介護・看護の強みを知ることができた」
「協立病院のこれまでの歴史や、未来への方向性を再認識できた」

など、多くの温かい感想をいただきました。

水俣協立グループは、これからも地域とともに歩み、医療と介護の連携による“住み慣れた地域で最後まで暮らす”ための支援を続けてまいります。ご参加いただいた皆さま、そして開催にご尽力いただいたすべての方々に、心より感謝申し上げます。



多職種連携でより安全・快適な療養環境へ

病棟看護師長 棚橋 純子

当院の「地域包括ケア病棟」は急性期治療を終えた患者さまが、在宅や施設に戻るまでのあいだ、安心して療養していただくための病棟です。自宅に帰るまでのリハビリや御家族への介護指導も行っています。当病棟では医師・看護師・リハビリスタッフ・管理栄養士など多職種がチームとなり、退院後の暮らしをどう支えるかを一緒に考え、支援します。



多職種カンファレンスの様子



当院病棟では、60床あった病床が医療体制の見直しに伴い、病床の適正化ということで2025年10月から55床となりました。更に2026年4月の病院リニューアル後には48床となります。病床が減ることにより、一人一人の患者さまへの看護体制を充実させ、よりきめ細やかなケアの提供が可能になります。これまでの大部屋中心の構成を見直し、2床室（2人部屋）を増設しました。プライバシーを確保しつつ、ゆったりとしたスペースで療養していただけます。今後は在宅医療やリハビリテーションとの連携をさらに強化し、地域全体で支える医療を推進していきます。また、新病院には、高齢の方や身体の不自由な方でも安心して入浴していただけるよう、新たに特別浴室を設置しました。ストレッチャー対応のミスト浴を備え、湯船につかったような保温効果を得られるため、安全で快適な入浴を提供できると思います。

今後も退院後の生活を見据え、患者さまが安心して療養できる環境を整えていきたいと思います。



クリニック名称変更のお知らせ

神経内科リハビリテーション協立クリニック
事務長 打上 努

当クリニックの歴史は水俣診療所時代から取り組んでいた水俣病患者さんのしびれや痛みを治療する理学療法により治療を、より患者さんが快適に行ってもらうことを目的に1990年に水俣協立病院より独立し「水俣協立理学クリニック」は開設したことに始まります。初代の藤野紘所長は内科、理学療法の他、水俣診療所から診察していた精神科医療や1992年からは振動病(労災職業病)の治療、1994年には老人デイケア(現通所リハビリテーション)を開始しました。

2002年には現高岡滋所長へバトンタッチし「神経内科リハビリテーション協立クリニック」へ名称変更して内科、精神科、労災職業病、通所リハビリテーションに、新たに神経内科とリハビリテーション医療を加えて、こころも身体もケアできるクリニックとして医療・介護活動に取り組んできました。

私たちはリニューアルを機会に今後10年・20年先もこの地でクリニックとして医療活動を継続していくならば、医師体制(診療科)等の変更の必要があることも考えて、このリニューアルを契機に名称を「**水俣協立クリニック**」へ変更することとしました。名称が変わりますが、これからもクリニック職員一同、医療構想や民医連綱領を基に、これまでの協立グループの歴史を引き継ぎ、発展させ、私たちの目指す社会やクリニックを実現するため毎日の診療や社会運動に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



1990年

水俣協立理学クリニック

2002年

神経内科リハビリテーション協立クリニック

2026年4月～

水俣協立クリニック

秋の日帰りバス旅行

みなまた健康友の会 ☎ 0966-62-3337



みなまた健康友の会 事務局長 永田 明美



11月8日(土)、阿蘇方面へ日帰りバス旅行に行ってきました。参加者は友の会の会員33名。今の季節ならではのススキが、雄大な山々を背景に風に揺れ、秋空に映えてとても美しかったです。

その景色を見て、「ああ、生きててよかった～」と感動の声をもらしたご高齢の方もいらっしゃいました。わかります、その気持ち! 雄大な自然の中で、久しぶりの旅行ということもあり、心も体もリフレッシュできたのでしょね。

阿蘇は日中まだ暑く、道の駅ではソフトクリーム売り場に行列ができていて、私たちも並んで購入しました。とても濃厚で、ミルクの味が口いっぱいに広がり、本当に美味しかったです。人気のため、売り切れてしまうこともあるそうですよ。阿蘇神社にも立ち寄りました。境内では冷たい湧き水があふれんばかりに流れていて、その量の多さに驚かされました。

参加された皆さんはお土産もたくさん購入され、満足のいく一日になったと思います。また新しい企画で、楽しい日帰りバス旅行を開催したいと思っています! お楽しみに!



健康ふれあいまつりを開催しました!

11月29日(土)、駅前のふれあい館で「2025健康ふれあいまつり」を開催しました。メインテーマは「健康を味わい、楽しみ、考えよう」です。ずっと呼びたかったくまモンがついに登場し、ステージではその可愛らしさに会場中が笑顔に包まれました。地域のお店による飲食の出店や、迫力あるダンスや太鼓のステージもあり、最後は福引きで大いに盛り上がりました。協立病院のコーナーでは、おそろいの法被を着たスタッフが血圧・血管年齢・骨密度の測定を実施。重岡院長が測定結果の説明や健康相談を行いました。



♡よろしく
お願いします

10月から友の会の事務局に
松本幸美さんが着任しました。

よろしくお願いします

総看護師長

田口 弘子
たぐち ひろこ



このたび10月より、水俣協立病院の総看護師長を拝命いたしました、田口弘子です。2026年4月には新しい病院が誕生し、新在宅部門もスタートします。地域の皆さまの毎日に寄り添い、安心して過ごしていただけるお手伝いをさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

医師

大谷 寛
おおたに ひろし



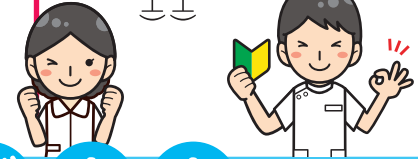
10月より着任しました大谷です。リウマチ膠原病・感染症が専門分野ですが、普段から内科全般の診療を行っておりみなさまの多様なニーズに対応できるように研鑽して参ります。ちなみに趣味は野球・・もしますが、今は専らコーヒー。いろんな器具を使って違いを楽しんでいます。

新入職員紹介

求人のご案内

- ※ 契約職員は短時間の勤務も可能です。
- 水俣協立病院【正職員】
 - ◆ 医師 ◆ 看護師 ◆ 薬剤師
 - ◆ 精神保健福祉士 ◆ 栄養士 ◆ 調理師
 - 水俣協立病院【契約職員】
 - ◆ 看護師 ◆ 准看護師 ◆ 介護福祉士
 - ◆ 看護助手 ◆ 栄養士 ◆ 調理師 ◆ 調理員
 - ケアセンター協立【正職員】
 - ◆ ケアマネージャー
 - ケアセンター協立【契約職員】
 - ◆ 看護師 ◆ ヘルパー
 - 協立クリニック【契約職員】
 - ◆ 介護福祉士

- 水俣協立病院
 - 病棟 ◆ 林 妙子（助手）
 - 病棟 ◆ 尾野 千恵（看護師）
- 栄養科 ◆ 中村 玲子（助手）
- ケアセンター協立
 - 訪問看護 ◆ 岩阪 有紗（看護師）
- 協立クリニック
 - 通所リハビリ ◆ 中野 楓香（介護福祉士）
 - 通所リハビリ ◆ 柳野 繭子（介護福祉士）



入院に関する ご相談窓口

＜地域医療連携室＞

担当：淵上・多比良

電話 0966-62-3418

Fax 0966-62-3419

お気軽にご相談ください。



無料送迎も
あります

送迎をご希望の方は
外来にご相談ください。

外来診療のご案内

協立病院

時間 \ 曜日	月	火	水	木	金	土
午前 前	○	○	○	○	○	○
午後 後		○		○	○	
訪問診療	○	○		○	○	
夜間診療	○				○	

午前 ▶ 8:30～11:30

午後 ▶ 13:30～16:30（月・火・木・金）

夜間 ▶ 16:30～18:30（月・金）

★月曜午後は休診になりました。

受付時間

協立クリニック

時間 \ 曜日	月	火	水	木	金	土
午前 前	○	○	○	○	○	○
午後 後	○	○		○	○	
夜間診療	○					
通所リハビリ	○	○	○	○	○	

午前 ▶ 8:30～11:30

午後 ▶ 13:30～16:30（月・火・木・金）

夜間 ▶ 16:30～17:30（月）

通所リハビリ ▶ 祝日も行っております。

受付時間

水俣
協立病院



協立
クリニック



ホームページのご紹介

編集後記



この秋、思いがけず体調を崩し、痛みと不安の中で過ごす日々がありました。熊本市内の病院で検査を受けても原因が分からず、心細さが募るばかり。どれほど日頃から気をつけていても、体の不調は突然訪れることがあるのだと痛感しました。

今回の経験を通じて、改めて「健康であることのありがたさ」を深く実感しています。何気ない日常が、いかに尊いものか…。どうか皆さまも、「まだ大丈夫」と思わず、少しでも気になることがあれば、早めの受診を。これは、ささやかながらも切実な、経験者からのメッセージです。

（S）